

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	9	30	19
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	6	7	33
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2	1 (2)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2	5	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5	4	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	1	3
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0	2	7

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第20週(5月15日~5月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			1		3		2
三類	0	発生なし	0							
四類	8	日本紅斑熱	7	1		3		1	1	1
		レジオネラ症	1				1			
五類全数	7	アメーバ赤痢	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1					
		急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	2					1		1
		破傷風	1							1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第20週 5/15~5/21)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

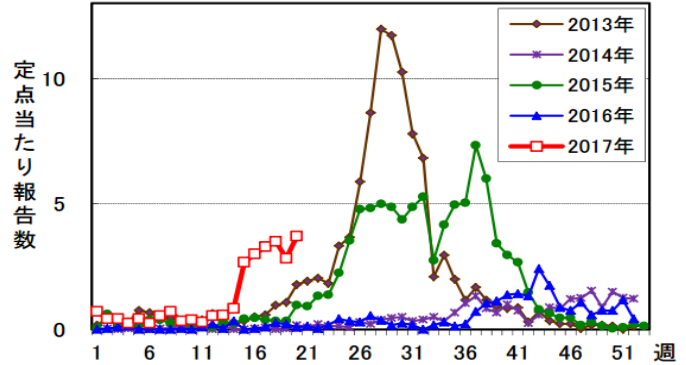
1. 手足口病

定点当たり3.71人と、前週と比べてやや増加しました。

手足口病は、口の中の粘膜や、手足などに水疱性の発しんがでるウイルス性の疾患で、主にコクサッキーウイルスA6、コクサッキーウイルスA16、エンテロウイルス71などが原因ウイルスとなります。感染経路は、飛沫感染、接触感染、便中に排出されたウイルスによる経口感染が知られています。

この疾患にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育園や幼稚園などでは、特に注意が必要です。手洗いの励行と排泄物の適切な処理、またタオルを共有しないなどの感染予防対策を徹底しましょう。

手足口病の流行状況



2. 日本紅斑熱

今年初めて1件の報告がありました。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィル	インフルエンザ	3	0.08	0.48		小児科	流行性耳下腺炎	10	0.42	0.73	
小児科	咽頭結膜熱	22	0.92	0.44		眼科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.11	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	3.21	2.35			急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	162	6.75	8.95		基幹	流行性角結膜炎	7	0.88	0.55	
	水痘	2	0.08	0.87			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	89	3.71	0.61			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.35			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.34	
	突発性発しん	6	0.25	0.51			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14		
		ヘルパンギーナ	5	0.21	0.39						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	56	男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
4	日本紅斑熱	1	1	男性(40歳代)
4	レジオネラ症	1	11	男性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	6	男性(40歳代)
5	急性脳炎	1	1	女性(10歳未満)
5	梅毒	1	19	男性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(39.0)	1	男	2017/04/10	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型 ライノウイルス
手足口病	発熱(38.0) 丘疹 紅斑	1	女	2017/04/15	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.7) 気管支炎	1	男	2017/04/07	咽頭拭い液 鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.8) 細気管支炎	1	男	2017/04/07	咽頭拭い液 鼻汁	ヒトメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎 鼻炎	7	男	2017/04/10	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス
その他の眼疾患	結膜充血 眼脂	36	男	2017/04/02	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の疾患	発熱(39.0) 紅斑	3	女	2017/03/12	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載